



イボイノシシの「ドゥニア」。目の下と牙の後ろにある2対のイボが名前の由来。生息地はサハラ砂漠以南のアフリカ大陸



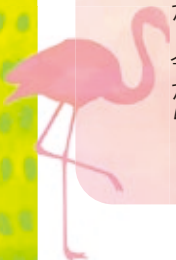
イノシシは生命力の強い動物

年が明けました。昨年10月に生まれたキリンの子「永友^{えいとも}」は元気に成長しています。今年は、カバの妊娠にも期待しています。それにしても、旭山の動物たちは、個体の出生地で見ると日本と海外の国際結婚が増えました。キリン、カバ、レッサーパンダ、ユキヒヨウ、アムールヒヨウ、オランウータン、チンパンジー……。まだ繁殖成功には至っていませんがホッキョクグマ、また、両親とも出生地が海外のシンリンオオカミ、アムールトラ……。きつとこの流れは今後も続くでしょう。動物園の動物にとっても、野生で暮らす動物には未来が見えてこない時代になりました。

今年の干支はイノシシ。旭山動物園では、かば館でイボイノシシ、子ども牧場ではイノシシを原種とする家畜のブタを飼育展示しています。今年は二ホンイノ

シシが登場する予定です。北海道には生息していませんが、イノシシは日本を代表するほ乳類。雑食性で生命力が強く、また、大型の肉食動物やヒトにとつて大切な食料源でもあります。インターネッツでは、ヒヨウなどに捕食される動画がこれでもかと出てきます。大地の豊かさやたくましさ、イノシシという姿になつて表現されているとも言えます。ちよつと切なくなるくらいですが、大地が持つ、命を保つ力を象徴する生き物だと感じます。旭山動物園が中心となつてボルネオゾウの保全活動の支援を行っています。ボルネオのジャングルに宿泊すると、ヒゲイノシシという、口の周りに毛が密集して生えていて、体毛がまばらなイノシシが群れを成して夜な夜な出現しますが、ジャングルの分身のような気配を漂わせています。

気が早いですが、今年の夏期間からは、フラミンゴ舎が改装オープンします。フラミンゴの独特な営巣行動が見られるか、今から期待が膨らみます。



旭山ピックアップ

スノーシューを履いて雪山探検

スノーシューを履いて、普段は入れない旭山動物園周辺の深雪の森へ散策に出掛けます。冬の木の芽や動物の痕跡を探しながら、冬を楽しんでみませんか。

- 日 2/9(土) 13:15~15:00
- 集合場所 旭山動物園正門前
- 定員 10人 (小学2年生以下は保護者同伴)
- 申込 電話で1/19(土)9:00から



冬期開園日・時間

- 4/7(日)まで
- = 10:30~15:30 (入園は15:00まで)

最新ニュースは旭山動物園☎で！
【詳細】



旭山動物園 (東旭川町倉沼) ☎36・1104)

旭山動物園をもっと楽しむ

絵本の読み聞かせ

- 日 毎月第2土曜日
- 11:30から
- 所 動物図書館



ワンポイントガイド

- 内 飼育員が、動物たちのエピソードなどを紹介
- 日 毎週日曜日、祝日 13:30から

雪あかりの動物園

詳細は11ページに掲載

とことん旭山

- 内 日 動物園裏側探検
- きりん舎・かば館編 = 2/16(土)
- 旧キリン舎・カバ舎・調理棟編 = 2/23(土)
- いずれも11:00から
- 定 各20人
- 申 電話で各日の3週間前9:00から